

2026年度 新渡戸文化中学校・高等学校				Unit Plan(年間シラバス)						担当	長谷川						
学年／コース			教科[中学]もしくは科目[高校]		重視される学びの自律型コンピテンシー												
高校3年探究コース			文学国語		自分をコントロールする Self-Control		他者とつながる Communication		新しい価値を創造する Creation								
					目標設定	選択	対話	つながり	情報活用	創造表現	内発動機						
時間数			使用教科書		✔	課題発見	✔	戦略的学習力	✔	言語スキル	✔	協働性	✔	データサイエンス	✔	クリエイティビティ	未来志向
2時間／週			精選文学国語(三省堂)		✔	可能性発見	✔	自己修正	✔	双方向コミュニケーション	✔	ソーシャルリティ	✔	批判的思考	✔	論理的表現力	他者尊重
					✔	パーソナライズな学び	✔	レジリエンス	✔	感情のコントロール	✔	教科と社会を紐づける力	✔	情報リテラシー	<倫理観><双方向コミュニケーション><自己修正>		自己承認
	単元		単元の概要		学びの羅針盤(活動内容と評価基準)												
1 学期	・「山月記」 ・読解演習評論文20選 ・「無常ということ」		・小説の読解を通して、表現に込められた作者の思いやメッセージを捉え、自分に引きつけて考え、その考えを言語化する。 ・社会問題とのつながりを意識し、自分の考えを表現することを試みる。 ・問題集を使つての問題演習を通して、読解力・表現力をつける。		社会的視点	A3 実社会から学びを得る		B3 実社会の問いを生む		C3 社会貢献のデザイン							
						教材に関連する社会的話題や記事を読み、現在問題となっていることを把握する。		現代社会における課題に自分の立場で何ができるのかを考え、他者と共有する		自分にできることを考え、具体的なイメージを作品に込めることで、社会の一員としての貢献をする。							
2 学期	・「文学の仕事」 ・「お砂糖とスパイスと爆発的な何か」 ・読解演習評論文20選		・評論文の読解を通して、説明方法の特徴を学び、自らの文章作成に活かせるようになる。 ・社会問題とのつながりを意識し、自分の考えを表現することを試みる。 ・問題集を使つての問題演習を通して、読解力・表現力をつける。		他者の視点	A2 本物の素材から学びを得る		B2 対話から問いを生む		C2 学外に向けて発表							
						新聞等のメディアに触れ、現実を捉える活動をする。		自分で考えたことをグループメンバーに発表し、対話でさまざまな考えに触れて、問いをまとめる。		適時、自分の探究テーマにあうコンテンツ等に出品。							
3 学期					個人的視点	A1 教科書から学びを得る		B1 個人の問いを生む		C1 校内で発表をする							
						説読解、評論文読解、表現技法、語彙、漢字について		作者・筆者の主張を捉え、なぜその表現を使っているのか、ことばに込められた意識を想像する。その過程で様々な表現の可能性を探る。		問いに対しての自分の考えを言語化し、他者と共有できる。それらをプレゼンテーションし、相互評価し、さらによいものを創ろうと努力できる。							
						関わり Engage		探究 Investigate		行動 Act							
						評価方法						学びのリソース(教材・ICT)					
本質的な問いまたは単元を貫く問いの例 Heart					創造的な活動およびアウトプットの例 Hands					知識・技能		●単元テスト ●漢字小テスト ●授業課題学習の進捗状況(50%)		●創作活動 ●協働や発表 ●活動の貢献度(50%)		【教材】教科書、iPad、読解演習評論文20選 【ICT】 ・keynoteほか 【備考】必要に応じて書籍、web	
「現代日本の抱える問題」を通して、その背景や原因に思いをはせ、どのようなことが自分のできるのかを考える。					「現代の問題に対する、自分の分析と解決策の提示をプレゼンする。他者の考えや想いを共有し、さらに考えを深め、具体的なアクションにつなげる。					思考力・判断力・表現力		漢字テスト、単元テストの再テストは実施しない。(公欠、出席停止は見込み点あり)					
ドキュメント(記録化)の方法 <共有と振り返りの日常化> Head			keynote、ノートの活用、フォームを利用した課題への取り組み			主体的に学習に取り組む態度											

2026年度 新渡戸文化中学校・高等学校				Unit Plan(年間シラバス)						担当	鈴木					
学年／コース		教科[中学]もしくは科目[高校]		重視される学びの自律型コンピテンシー												
高3／β・α		国語／文学国語		自分をコントロールする Self-Control		他者とつながる Communication		新しい価値を創造する Creation								
				目標設定	選択	対話	つながり	情報活用	創造表現	内発動機						
時間数		使用教科書		✔	課題発見	✔	戦略的学習力	✔	言語スキル	✔	協働性	✔	データサイエンス	✔	クリエイティビティ	未来志向
2時間／週		精選文学国語(三省堂)		✔	可能性発見	✔	自己修正	✔	双方向コミュニケーション	✔	ソーシャルリティ	✔	批判的思考	✔	論理的表現力	他者尊重
				✔	パーソナライズな学び	✔	レジリエンス	✔	感情のコントロール	✔	教科と社会を結ぶ力	✔	情報リテラシー	<倫理観><双方向コミュニケーション><自己修正>	自己承認	
	単元	単元の概要		学びの羅針盤(活動内容と評価基準)												
1 学 期	・小説(二)学びのとびら ・読むこと・書くこと・語ること ——文学国語の広がり	・死者の声を運ぶ小舟(小川洋子) …文学から学ぶ戦争の記憶から現代に置き換えて想像し自身のこととしてシミュレーションし物語る。 ・想像し物語ること(大江健三郎) …他者からのインタビューメモから自己の想像力の働きを実感する。 ・漢字テスト		近 世 ・ 世 界 的 視 点	A3 実社会から学びを得る		B3 実社会の問いを生む		C3 社会貢献のデザイン							
					教材に関連する社会的話題や記事を読み、世界情勢と結びつけ現在問題となっていることを把握する。		文学作品に残る人間社会が抱え続けた課題に目を向け、現代社会における課題において自分の立場で何ができるのかを考え、他者と共有する。		人間社会が抱え続ける課題に対し、自分にできることを考え、具体的なイメージを作品に込める。遠い誰かの問題ではなく、自分自身の問題として考え、社会の一員としての貢献をする。							
2 学 期	・小説の言葉・詩の言葉 ——文学国語へのいざない ・文学の共同制作	・夜中の汽笛について、あるいは物語の効用について(村上春樹) …物語の効用について考察し、創作を実践する。 ・連詩の愉しみ(大岡信) …連詩に触れ、共同制作する楽しみを味わう。 ・漢字テスト		他 者 ・ 地 域 的 視 点	A2 本物の素材から学びを得る		B2 対話から問いを生む		C2 学外に向けて発表							
					文学作品、映画、新聞などのメディアや体験談などに触れ、現実を捉え読み取る。		自分で考えたことをグループメンバーに発表し、受け止め合う対話で再発見した考察から、より具体的かつ魅力的な発表へ繋げる。									
3 学 期	—	—		個 人 的 視 点	A1 教科書から学びを得る		B1 個人の問いを生む		C1 校内で発表をする							
					漢字、語彙、文章読解、表現技法の習得。 ・漢字テスト・単元テスト。		作者・筆者の主張を捉え、自分の身に置き換えて想像し、表現に込められた心情を紐解く。その過程で様々な表現の可能性を探る。		課題に対しての自分のアイデアを言語化し、他者と共有できる。							
					関わり Engage		探究 Investigate		行動 Act							
				評価方法				学びのリソース(教材・ICT)								
本質的な問いまたは単元を貫く問いの例 Heart		創造的な活動およびアウトプットの例 Hands		知識・技能	●単元テスト(30%) ●小テスト・授業課題等学習の進捗状況(20%) ☆なお欠席の場合の再テストは実施しない。(単元テスト・漢字テスト)公欠・出席停止の場合は、取り組んだ課題の到達点をもとに見込み点で評価する。				●アウトプットテスト(30%) ●活動の貢献度・課題等の取り組み(20%)				<教材> 国語便覧(浜島書店) 語彙をつける入試漢字2600(筑摩書房) 読解演習評論文20選ステップアップ改訂版(明治書院) <ICT> iPad・ロイロノート・Classroom <備考> 要に応じて書籍・web動画等を参考・活用する			
想像力の重要性 想像力なくして人は人として生きることができるのか		(一学期)戦争に関する文学作品に触れ、戦争体験者の話から自分の身に起きたと仮定して物語る。1000字程度 (二学期)小説1000～1200字、連詩		思考力・判断力・表現力												
ドキュメント(記録化)の方法 <共有と振り返りの日常化> Head		Googleclassroom(予定の確認) ロイロノート(進捗課題および作品の共有)		主体的に学習に取り組む態度												

2026年度 新渡戸文化中学校・高等学校				Unit Plan(年間シラバス)				担当	西村								
学年／コース			教科[中学]もしくは科目[高校]		重視される学びの自律型コンピテンシー												
高校3年／探究進学コース			古典探究(演習)		自分をコントロールする Self-Control		他者とながら Communication		新しい価値を創造する Creation								
					目標設定	選択	対話	つながり	情報活用	創造表現	内発動機						
時間数			使用教科書		✔	課題発見	✔	戦略的学習力	✔	言語スキル	✔	協働性	✔	データサイエンス	✔	クリエイティビティ	未来志向
2時間／週			精選古典探究(大修館書店)		✔	可能性発見	✔	自己修正	✔	双方向コミュニケーション	✔	ソーシャルリティ	✔	批判的思考	✔	論理的表現力	他者尊重
					✔	パーソナライズな学び	✔	レジリエンス	✔	感情のコントロール	✔	教科と社会を結ぶ力	✔	情報リテラシー	<倫理観><双方向コミュニケーション><自己修正>	自己承認	
	単元	単元の概要		学びの羅針盤(活動内容と評価基準)													
1 学 期	・万葉集 ・古今和歌集 ・万葉集 ・古典文法(助動詞)	・古典を探究するために必要な古典文法(助動詞)を学び直し、知識・技能を身につける。 ・和歌を読み、当時の生活や価値観、文化を探究する。 ・古今和歌集「仮名序」などの歌論から、文学史における和歌のコンテキストを捉える。		視点 ・社会的 ・社会的	A3 実社会から学びを得る		B3 実社会の問いを生む		C3 社会貢献のデザイン								
					古典文学や古典芸能にあらわれる文化や価値観を学び、現代との共通点、相違点について、他者に伝えることができる。		古典作品や「伝統」と呼ばれるものがどのように継承され、現代においてどのような意味があるのかといった問いを自ら立て、批判的思考も含めて考察できる。		自身が探究した古典作品や「伝統」と呼ばれるもの一事例に対し、具体的な継承のデザインを提案できる。								
2 学 期	・漢詩 ・風姿花伝 ・難波土産	・漢詩を読み、中国の当時の生活や価値観、文化を探究する。 ・古典芸能に関する理論から、現代までのコンテキストを捉えた上で自分ごと化して思考を巡らして、自身の考えを表現する。		視点 ・地域的 ・他者・	A2 本物の素材から学びを得る		B2 対話から問いを生む		C2 学外に向けて発表								
					和歌や古典芸能の鑑賞を通し、人間の生き方や価値観について気づくことができる。		グループワークを行い、自分の問いや解釈を共有できる。お互いの考えを擦り合わせながら、納得解や最適解のための対話ができる。		探究の結果をまとめた小論文をスタディフェスタで展示する。								
3 学 期				視点 ・個人的	A1 教科書から学びを得る		B1 個人の問いを生む		C1 校内で発表をする								
					古典文学や文学理論の内容や当時の社会背景を理解する。 古文・漢文を読むための基本的な知識やスキルを身につける。		古典文学を読んだり、自ら制作活動をしたりすることを通して、そもそも「古典とは?」「伝統とは?」といった哲学的な問いを自ら立て、探究することができる。		個人が探究した結果をクラス内でプレゼンテーション及び相互評価をし、学外の発表に向けてのブラッシュアップができる。								
					関わり Engage		探究 Investigate		行動 Act								
				評価方法						学びのリソース(教材・ICT)							
本質的な問いまたは単元を貫く問いの例 Heart				創造的な活動およびアウトプットの例 Hands				知識・技能		●単元テスト ●小テスト ●授業プリントなど学習の進捗状況 (50%)		●創作活動 ●協働や発表 ●活動の貢献度 (50%)		【教材】いっずな書店『古文単語330』、桐原書店『基礎から学ぶ解析古典文法』、桐原書店『基礎から学ぶ解析古典文法 演習ノート』、浜島書店『最新国語便覧』、プリントなど 【ICT】教科サイト、ロイノート、GoogleClassroomなど 【備考】必要に応じて Web 動画、Web ソフトを活用する			
・古典／伝統とは ・古典を未来に継承する意義とは ・古典から現代までのコンテキスト(を導き出す)				・三大歌集のプレゼンテーション(グループワーク) ・三大和歌集から一首を選んで本歌取りし、和歌を詠む。その制作プロセスを言語化し、レポートを作成する(いずれも個人) ・「伝統」と呼ばれる一事例に問いを立て探究した上で「伝統とは何か」をグループで対話し、小論文を作成する(個人／グループワーク)				思考力・判断力・表現力									
ドキュメント(記録化)の方法 <共有と振り返りの日常化> Head				Googleclassroom(予定の確認) ロイノート(進捗課題および作品の共有)				主体的に学習に取り組む態度									

2026年度 新渡戸文化中学校・高等学校			Unit Plan(年間シラバス)							担当	中嶋・酒井・西村・中村 ・長谷川					
学年／コース		教科[中学]もしくは科目[高校]		重視される学びの自律型コンピテンシー												
高3 探究進学コース		文章演習Ⅰ		自分をコントロールする Self-Control		他者とつながる Communication		新しい価値を創造する Creation								
				目標設定	選択	対話	つながり	情報活用	創造表現	内発 動機						
時間数		使用教科書		☒	課題発見	☐	戦略的学習力	☒	言語スキル	☐	協働性	☐	データサイエ ンス	☒	クリエイティビ ティ	未来 志向
2時間／週		小論文チャレンジノート 小論文頻出テーマチェック＆ワーク 小論文頻出テーマ解説集 現代を知るplus		☒	可能性発見	☒	自己修正	☒	双方向コミュ ニケーション	☒	ソーシャルリ ティ	☒	批判的思考	☒	論理的表現力	他者 尊重
				☒	パーソナライ ズな学び	☒	レジリエンス	☒	感情の コントロール	☒	教科と社会を 紐づける力	☒	情報リテラ シー	<倫理観><双方向コミュ ニケーション><自己修正>		自己 承認
単元		単元の概要		学びの羅針盤(活動内容と評価基準)												
1 学期	小論文演習	様々なテーマから社会の事象を捉え、テキストや書籍、新聞記事などを援用しながら、自分の見識を広め、そのインプットを自己推薦文、志望理由書、小論文などの文章にアウトプットする練習を繰り返し行う。		社会的 視点 社会・世界の視点	A3 実社会から学びを得る		B3 実社会の問いを生む		C3 社会貢献のデザイン							
					NewsPicksを活用し、新聞記事(実社会)から、学びを得る。		新聞記事(実社会)から、問いを生む。		小論文演習を通して、大学進学だけではなく、自身のキャリアや社会貢献に関するデザインを考える。							
2 学期	小論文演習	様々なテーマから社会の事象を捉え、テキストや書籍、新聞記事などを援用しながら、自分の見識を広め、そのインプットを自己推薦文、志望理由書、小論文などの文章にアウトプットする練習を繰り返し行う。		他者の 視点 地域・他者の視点	A2 本物の素材から学びを得る		B2 対話から問いを生む		C2 学外に向けて発表							
					書籍、WEB等から学びを得る。		新聞記事をもとにした発表から、対話を通して考えを深める。									
3 学期				個人的 視点 個人の視点	A1 教科書から学びを得る		B1 個人の問いを生む		C1 校内で発表をする							
					テーマ別の基礎知識をテキストから得る。		書籍や新聞記事、WEBを通して、自分なりの問いを生む。		テーマごとの発表から、対話を通して考えを深める。							
				関わり Engage		探究 Investigate		行動 Act								
				評価方法						学びのリソース(教材・ICT)						
本質的な問いまたは単元を貫く問いの例		創造的な活動およびアウトプットの例		知識・技能		●単元テスト(30%) ●小テスト・授業課題等 学習の進捗状況(20%)		●創作活動 ●協働や発表 ●活動の貢献度 (50%)		<教材> 現代を知るplus(第一学習社) チェック＆ワーク(第一学習社) <ICT> iPad・ロイロノートなど <備考> NewsPicks活用						
自分の興味関心分野、進路について考える		NewsPicksのコメント欄に自身の考えを400字程度で論じる。 志望理由書を書く。		思考力・判断力・ 表現力												
ドキュメント(記録化)の方法 <共有と振り返りの日常化>				主体的に学習に 取り組む態度												

2026年度 新渡戸文化中学校・高等学校				Unit Plan(年間シラバス)							担当	高橋(伸)				
学年／コース		教科[中学]もしくは科目[高校]		重視される学びの自律型コンピテンシー												
高3 探究進学コース(文系)		文章演習Ⅱ		自分をコントロールする Self-Control		他者とつながる Communication		新しい価値を創造する Creation								
				目標設定	選択	対話	つながり	情報活用	創造表現	内発動機						
時間数		使用教科書		☒	課題発見	☒	戦略的学習力	☒	言語スキル	☐	協働性	☐	データサイエンス	☒	クリエイティビティ	未来志向
2時間／週		小論文チャレンジノート 小論文頻出テーマチェック&ワーク 小論文頻出テーマ解説集 現代を知るplus		☒	可能性発見	☒	自己修正	☒	双方向コミュニケーション	☒	ソーシャルリティ	☒	批判的思考	☒	論理的表現力	他者尊重
				☒	パーソナライズな学び	☒	レジリエンス	☒	感情のコントロール	☒	教科と社会を紐づける力	☒	情報リテラシー	<倫理観><双方向コミュニケーション><自己修正>		自己承認
	単元	単元の概要		学びの羅針盤(活動内容と評価基準)												
1 学期	小論文演習	様々なテーマから社会の事象を捉え、テキストや書籍、新聞記事などを援用しながら、自分の見識を広め、そのインプットを自己推薦文、志望理由書、小論文などの文章にアウトプットする練習を繰り返し行う。		社会的視点	A3 実社会から学びを得る		B3 実社会の問いを生む		C3 社会貢献のデザイン							
					新聞記事(実社会)から、学びを得る。		新聞記事(実社会)から、問いを生む。		小論文演習を通して、大学進学だけではなく、自身のキャリアや社会貢献に関するデザインを考える。							
2 学期	小論文演習	様々なテーマから社会の事象を捉え、テキストや書籍、新聞記事などを援用しながら、自分の見識を広め、そのインプットを自己推薦文、志望理由書、小論文などの文章にアウトプットする練習を繰り返し行う。 ・		他者の視点	A2 本物の素材から学びを得る		B2 対話から問いを生む		C2 学外に向けて発表							
					書籍、WEB等から学びを得る。		新聞記事をもとにした発表から、対話を通して考えを深める。		新聞記事の内容に対する自分の考えの投書、コンクール等への応募する。							
3 学期	・ ・	・ ・		個人的視点	A1 教科書から学びを得る		B1 個人の問いを生む		C1 校内で発表をする							
					テーマ別の基礎知識をテキストから得る。		書籍や新聞記事、WEBを通して、自分なりの問いを生む。		テーマごとの発表から、対話を通して考えを深める。							
					関わり Engage		探究 Investigate		行動 Act							
				評価方法						学びのリソース(教材・ICT)						
本質的な問いまたは単元を貫く問いの例 Heart		創造的な活動およびアウトプットの例 Hands		知識・技能	●単元テスト(30%) ●小テスト・授業課題等学習の進捗状況(20%)		●創作活動 ●協働や発表 ●活動の貢献度(50%)		<教材> 現代を知るplus(第一学習社) チェック&ワーク(第一学習社) <ICT> iPad・ロイロノートなど <備考>							
自分の興味関心分野、進路について考える		新聞記事の内容に対する自分の考えの投書、コンクール等への応募											思考力・判断力・表現力			
ドキュメント(記録化)の方法 <共有と振り返りの日常化> Head		Google スプレッドシート利用した課題への取り組みを意識、またその振り返り		主体的に学習に取り組む態度												

2026年度 新渡戸文化中学校・高等学校			Unit Plan(年間シラバス)							担当	藤木 正史				
学年／コース		教科[中学]もしくは科目[高校]	重視される学びの自律型コンピテンシー												
高校3年2コース		日本史探究	自分をコントロールする Self-Control		他者とつながる Communication		新しい価値を創造する Creation								
			目標設定	選択	対話	つながり	情報活用	創造表現	内発 動機						
時間数		使用教科書	☑	課題発見	☑	戦略的学習力	☑	言語スキル	☑	協働性	☑	データサイエ ンス	☑	クリエイティ ビティ	未来 志向
4時間／週		山川出版社『高校日本史』	☑	可能性発見	☑	自己修正	☑	双方向コミュ ニケーション	☑	ソーシャリティ	☑	批判的思考	☑	論理的表現力	他者 尊重
			☑	パーソナライ ズな学び	☑	レジリエンス	☑	感情の コントロール	☑	教科と社会を 結ぶける力	☑	情報リテラ シー	<倫理観><双方向コミュニ ケーション><自己修正>		自己 承認
	単元	単元の概要	学びの羅針盤(活動内容と評価基準)												
1 学期	・日本の現代史 ・日本の旧石器時代から平安時代	・日本の終戦後、GHQによる占領、日本国憲法の制定、戦後政治史の流れ、高度経済成長をさまざまな資料を利用し学習していく ・日本の旧石器から平安時代について史料を中心に概観する。特に政治・経済・社会システムなどを中心に学習する	社会・世界的 視点	A3 実社会から学びを得る		B3 実社会の問いを生む		C3 社会貢献のデザイン							
				政治や経済、社会について学習したことをもとに歴史についての関心を高め、学びを深めることができる。		学習した内容をもとに日本の歴史について興味を高め、新たな学習課題を持つことができる。		学習した内容をもとに、減税の日本の社会や文化に対する関心を高めることができる							
2 学期	・日本の鎌倉時代から室町時代 ・日本の安土桃山時代から江戸時代	・平氏政権から戦国時代に関して、政治の動きや社会の変動、文化について概観する。特に鎌倉時代初期の政治の動き、元寇、南北朝、民衆の成長を中心に学習する ・鉄砲伝来以降の安土桃山時代、黒船来航直前までの江戸時代を中心に、政治、社会、文化の動きを学習する。特に江戸初期までの政治情勢、江戸時代の社会・文化の進展を中心に学習する	他者・地域的 視点	A2 本物の素材から学びを得る		B2 対話から問いを生む		C2 学外に向けて発表							
				史料や映像、実物教材などから、各時代について学習したことをより深く学びを深めることができる。		学習した内容をもとにさまざまな事項に対して自分の言葉としてアウトプットし、疑問など新たな学びにつなげることができる。		学習した内容を学外を対象に発信し、新たな学びにつなげることができる。							
3 学期			個人的 視点	A1 教科書から学びを得る		B1 個人の問いを生む		C1 校内で発表をする							
				教科書を中心とした知識が身につき、日本史に関する基本的な情報がわかる。		学習した内容から、疑問点や不明な点を言語化し、さらに学びを深めることができる。		学習した内容をまとめプレゼンテーションし、相互評価できる。							
				関わり Engage		探究 Investigate		行動 Act							
				評価方法						学びのリソース(教材・ICT)					
本質的な問いまたは単元を貫く問いの例		創造的な活動およびアウトプットの例		知識・技能	●単元テスト・小テスト40%		●アウトプットテスト30%		【教材】高校日本史(山川出版社) ゼミナール日本史(浜島書店) 日本史重要資料集(浜島書店)						
・日本史を学ぶ意味とは ・その時代と今とのつながりについて ・各時代の人はどう暮らしていたのか ・各時代はどういう特徴があるのか		・各時代で起きた特徴的な事件や時代を代表する人物について、自分の考えもとにまとめ、発表できる			思考力・判断力・表現力		提出・ふりかえりシート30%		【ICT】 ・ゲーグルクラスルーム ・スクールAI 【備考】 実物史料・映像資料						
ドキュメント(記録化)の方法 <共有と振り返りの日常化>		・Google Classroom(進捗課題および予定の確認) ・オリジナルプリントの配布		主体的に学習に取り組む態度											

2026年度 新渡戸文化中学校・高等学校			Unit Plan(年間シラバス)							担当	片岡鉄平	
学年／コース		教科[中学]もしくは科目[高校]		重視される学びの自律型コンピテンシー								
高校3年2コース・探究進学		世界史探究		自分をコントロールする Self-Control		他者とながる Communication		新しい価値を創造する Creation				
時間数		使用教科書		目標設定	選択	対話	つながり	情報活用	創造表現	内発動機		
4時間／週 (うち片岡担当1時間)		「わたしたちの歴史 日本から世界へ」 山川出版		☒ 課題発見	☒ 戦略的学習力	☒ 言語スキル	☒ 協働性	☒ データサイエンス	☐ クリエイティビティ	未来志向		
				☒ 可能性発見	☒ 自己修正	☒ 双方向コミュニケーション	☒ ソーシャリティ	☒ 批判的思考	☒ 論理的表現力	他者尊重		
				☒ パーソナライズな学び	☐ レジリエンス	☐ 感情のコントロール	☒ 教科と社会を紐づける力	☒ 情報リテラシー	<倫理観><双方向コミュニケーション><自己修正>	自己承認		
単元		単元の概要		学びの羅針盤(活動内容と評価基準)								
1 学期	・グローバル化と私たち	・戦後の諸問題、国際秩序を考察することで、現代の諸問題にどう向き合えばよいのか考える。		社会・世界的視点	A3 実社会から学びを得る		B3 実社会の問いを生む		C3 社会貢献のデザイン			
					現在起きている問題と世界史との関連を考える。		世界史を学ぶことで、現代社会の問題の原因を理解する。		歴史を学ぶことで、世界中どここの文化も理解できる寛容な人間を育てる。			
2 学期	同上	同上		他者・地域的視点	A2 本物の素材から学びを得る		B2 対話から問いを生む		C2 学外に向けて発表			
					画像データを利用して提示する。		学習した内容を自分の言葉としてアウトプットし、疑問など新たな学びにつなげることができる。					
3 学期				個人的視点	A1 教科書から学びを得る		B1 個人の問いを生む		C1 校内で発表をする			
					教科書の内容を基本にして、教科書に書かれている知識を用いて考えることができるようにする。		疑問から、話を広げて、共有化する。		グループワークで調べた内容を発表し、共有する。			
					関わり Engage		探究 Investigate		行動 Act			
				評価方法				学びのリソース(教材・ICT)				
本質的な問いまたは単元を貫く問いの例		創造的な活動およびアウトプットの例		知識・技能	●単元テスト(50%)		●創作活動 iPad ●授業まとめ ●問題ノート 以上(50%)		【教材】 iPad 『歴史総合資料集』山川出版社 『わたしたちの歴史 日本から世界へ ノート』山川出版社 【ICT】 Google classroom ロイロノート 【備考】 必要に応じて Web動画や録画した番組の視聴、Webソフトを活用する。			
日本史と世界史を関連付けながら、過去と現代との繋がりを意識し、歴史を考える力、現代社会を生きる力を養う。		授業で学んだこと、自分で勉強した知識をもとに、自分の意見を発信する。 ・ディベートを通じて発信力を身につける。 ・グループワークを通じて自分の考えを構築する。			思考力・判断力・表現力							
ドキュメント(記録化)の方法 <共有と振り返りの日常化>		"Google classroom ロイロノート(アナログの提出物は全てデータ化して提出)"		主体的に学習に取り組む態度	相原先生の世界史探究(3時間)と案分(この授業は全体の25%分)							

2026年度 新渡戸文化中学校・高等学校					Unit Plan(年間シラバス)										担当	相原優輝	
学年／コース			教科[中学]もしくは科目[高校]														
高校3年全コース			世界史探究		自分をコントロールする Self-Control			他者とながる Communication			新しい価値を創造する Creation						
高校3年担当のため、授業無し			使用教科書		目標設定	選択	対話	つながり	情報活用	創造表現	内発動機						
3時間／週			山川出版社『世界史探究高校世界史』 浜島書店『世界史詳覧』		課題発見	戦略的学習力	言語スキル	協働性	データサイエンス	クリエイティビティ	未来志向						
					可能性発見	自己修正	双方向コミュニケーション	ソーシャリティ	批判的思考	論理的表現力	他者尊重						
					パーソナライズな学び	レジリエンス	感情のコントロール	教科と社会を結ぶ力	情報リテラシー	<倫理観><双方向コミュニケーション><自己修正>	自己承認						
単元			単元の概要		学びの羅針盤(活動内容と評価基準)												
1 学期	・諸地域の歴史的特質の形成		・文明の成立と古代文明の特質 ・中央ユーラシアと東アジア世界 ・南アジアと東南アジア世界の展開 ・西アジアと地中海周辺の国家形成 ・イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 ・オリエント文明などの古代文明の誕生から東アジア世界と中央ユーラシアをはじめとする諸地域ごとの歴史の様相や展開について学びを深める。 ・生業、身分、階級、王権、宗教、文化、思想などに着目して考察する。		社会・世界的視点	A3 実社会から学びを得る		B3 実社会の問いを生む			C3 社会貢献のデザイン						
			現代社会の出来事・仕組みと学習したことを結びつけ、学びを深めることができる。			自ら社会課題に関わる具体的な問題を設定できる。			学習した内容で生まれた「問い」「課題」などから、今自分ができることを考え、行動しようとする姿勢がみられる								
2 学期	・諸地域の交流・再編		・イスラーム教の伝播と西アジアの動向 ・ヨーロッパ世界の姿容と展開 ・東アジア世界の展開とモンゴル帝国 ・大交易・大交流の時代 ・アジアの諸帝国の繁栄 ・近世ヨーロッパ世界の動向 ・8世紀以降のイスラーム教が各地に広まる時代から、宋～清に至る中国王朝の変遷、中世から近世にたるヨーロッパの情勢について学びを深める。 ・交易の拡大、都市の発達、国家体制の変化、宗教や科学・技術及び文化・思想の伝播などに着目して考察する。		他者・地域的視点	A2 本物の素材から学びを得る		B2 対話から問いを生む			C2 学外に向けて発表						
			資料集やWeb記事を活用し、より本質的な理解、課題設定ができる。			様々な意見をもつ他者対話をするなかで、自分自身のもつ「問い」を多角的に思考し、深めることができる。			学習した内容を学外を対象に発信し、新たな学びにつなげることができる。								
3 学期	高校3年担当のため、授業無し		高校3年担当のため、授業無し		個人的視点	A1 教科書から学びを得る		B1 個人の問いを生む			C1 校内で発表をする						
						教科書を中心とした知識が身につく、世界史に関する基本的な知識、情報がわかる。		学習した内容から、疑問点や不明な点を言語化し、さらに学びを深めることができる。			学習内容をまとめ、自身に意見を踏まえながら他者を意識したプレゼンテーションができる。						
					関わり Engage			探究 Investigate			行動 Act						
					評価方法						学びのリソース(教材・ICT)						
本質的な問いまたは単元を貫く問いの例 Heart			創造的な活動およびアウトプットの例 Hands		知識・技能	●単元テスト 40% ●授業内課題(探究しよう！) 30%			●アウトプット型テスト 30%			【教材】 ・山川出版社『世界史探究 高校世界史』 ・浜島書店『世界史詳覧』 ・山川出版社『高校世界史ノート』 ・自作プリント					
・現代の世界の社会はどのように出来上がったのだろうか。 ・日本史との関係はどうなっているのか。			・時代背景や時代の流れをしっかりと説明できる。 ・当時の史料などを参考にして、課題に対して自分なりの考えをまとめることができる。			思考力・判断力・表現力							【ICT】 ・ipad ・ロイロノート ・Googleclassroom				
ドキュメント(記録化)の方法 <共有と振り返りの日常化> Head			ロイロノート(授業内課題の提出) Googleclassroom(アウトプット型テストのスライドなどの資料提出、授業内連絡)		主体的に学習に取り組む態度								【備考】				

2026年度 新渡戸文化中学校・高等学校			Unit Plan(年間シラバス)							担当	片岡鉄平						
学年／コース		教科[中学]もしくは科目[高校]		重視される学びの自律型コンピテンシー													
高3／全コース		政治・経済		自分をコントロールする Self-Control		他者とつながる Communication		新しい価値を創造する Creation									
				目標設定	選択	対話	つながり	情報活用	創造表現	内発動機							
時間数		使用教科書		☒	課題発見	☐	戦略的学習力	☐	言語スキル	☒	協働性	☐	データサイエンス	☐	クリエイティビティ	未来志向	
2時間／週		最新政治・経済 実教出版		☒	可能性発見	☐	自己修正	☒	双方向コミュニケーション	☒	ソーシャリティ	☒	批判的思考	☒	論理的表現力	他者尊重	
				☒	パーソナライズな学び	☐	レジリエンス	☐	感情のコントロール	☒	教科と社会を紐づける力	☒	情報リテラシー	<倫理観><双方向コミュニケーション><自己修正>		自己承認	
	単元	単元の概要		学びの羅針盤(活動内容と評価基準)													
1 学期	・現代の政治	・新聞記事や録画した番組も活用しながら、現代の政治や経済のしくみを理解するとともに、問題点や課題を知り、社会に出て、政治や経済について、自ら考え、判断できる力を養う。 ・実際に議員の方や弁護士の方に来て頂いて、政治家の仕事や裁判について知る。		・世界の視点 ・社会的視点 ・地域的視点 ・他者の視点 ・個人的視点	A3 実社会から学びを得る		B3 実社会の問いを生む		C3 社会貢献のデザイン								
					現在起きている現代社会の諸課題を知る。		現代社会の諸課題を知ることで、現代社会の問題を理解する。		現代社会の諸課題を通じてわたしたちが出来ることを考える。								
A2 本物の素材から学びを得る		B2 対話から問いを生む			C2 学外に向けて発表												
新聞やネットニュース、現代諸課題を取り上げた番組を視聴する。特に新聞を活用した実践を重視する。		学習した内容を自分の言葉としてアウトプットし、疑問など新たな学びにつなげることができる。															
2 学期	・現代の経済	・新聞記事や録画した番組も活用しながら、現代の政治や経済のしくみを理解するとともに、問題点や課題を知り、社会に出て、政治や経済について、自ら考え、判断できる力を養う。 ・投資や税の専門家に来て頂き、教科書では触れられていない、実際の運用や仕組みについて学ぶ。			A1 教科書から学びを得る		B1 個人の問いを生む		C1 校内で発表をする								
							疑問から、話を広げて、共有化する。		グループワークで調べた内容を発表し、共有する。								
3 学期	・ ・	・ ・			関わり Engage		探究 Investigate		行動 Act								
				評価方法						学びのリソース(教材・ICT)							
本質的な問いまたは単元を貫く問いの例 Heart				創造的な活動およびアウトプットの例 Hands				知識・技能		●新聞記事を用いたプレゼン発表(50%)		●ロイロノートなどでの課題提出(50%)		<教材> iPad <ICT> Google classroom ロイロノート <備考> 必要に応じて 新聞記事やネットニュースの共有、Web動画や録画した番組の視聴、Webソフトを活用する。			
・より良い社会にしていこうためにはどうしたら良いのか ・みんなが幸せになれる社会とは				・「10代と20代の投票率の差について考える」 ・少子化問題を考える ・地方自治の問題を考える ・死刑制度について考える													
ドキュメント(記録化)の方法 <共有と振り返りの日常化> Head				"Google classroom ロイロノート(アナログの提出物は全てデータ化して提出)"				主体的に学習に取り組む態度									

2026年度 新渡戸文化中学校・高等学校				Unit Plan(年間シラバス)						担当	山崎					
学年／コース		教科[中学]もしくは科目[高校]		重視される学びの自律型コンピテンシー												
高校3年 探究進学理系コース		数学Ⅲ		自分をコントロールする Self-Control		他者とつながる Communication		新しい価値を創造する Creation								
				目標設定	選択	対話	つながり	情報活用	創造表現	内発動機						
時間数		使用教科書		☒	課題発見	☒	戦略的学習力	☒	言語スキル	☐	協働性	☒	データサイエンス	☐	クリエイティビティ	未来志向
4時間／週		数研出版 新編数学Ⅲ		☒	可能性発見	☒	自己修正	☒	双方向コミュニケーション	☐	ソーシャルリティ	☒	批判的思考	☒	論理的表現力	他者尊重
				☒	パーソナライズな学び	☒	レジリエンス	☒	感情のコントロール	☒	教科と社会を結ぶ力	☒	情報リテラシー	<倫理観><双方向コミュニケーション><自己修正>		自己承認
	単元	単元の概要		学びの羅針盤(活動内容と評価基準)												
1 学期	・積分法とその応用	・単元の意義を考え、概念を理解し、基本的な原理・法則を用いた処理ができる。 ・積分法の性質を理解し、事象を数学的に捉えて簡潔・明瞭・的確に表現できる。 ・本質的な問いに従って、問題解決の過程における粘り強さ・数学的論拠・表現のよさに気づき、評価・改善ができる。		社会的視点	A3 実社会から学びを得る		B3 実社会の問いを生む		C3 社会貢献のデザイン							
					実社会や世界のデータを検索し事象の数値を比較・分析したものを選択した方法で表現できる。※リアルな体験を通してB3につなげる可能性もある。											
2 学期	自律学習	・本質的な問いに従って、問題解決の過程における粘り強さ・数学的論拠・表現のよさに気づき、評価・改善ができる。 ・学習の過程を振り返って考察を深め、評価し、改善することができる。		他者・地域的視点	A2 本物の素材から学びを得る		B2 対話から問いを生む		C2 学外に向けて発表							
					日常の事象から問いを発見し、解を導くことができる。		日常の事象もしくは実社会の問題に対して、役割分担を行い、解決や創造のアウトプットを共創する。									
3 学期				個人的視点	A1 教科書から学びを得る		B1 個人の問いを生む		C1 校内で発表をする							
					基本事項の本質的な理解につとめ、基本問題を解くことができる。		手順の違う解法など他者の意見の理解に努め、学び方に向き合う姿勢が見られる。また、それらを自己評価することができる。		学習成果を共有・プレゼンテーションおよび相互評価することができる。							
					関わり Engage		探究 Investigate		行動 Act							
				評価方法						学びのリソース(教材・ICT)						
本質的な問いまたは単元を貫く問いの例		創造的な活動およびアウトプットの例		知識・技能	●単元テスト(50%)		●学習の進捗 ●振り返り ●主体的な学習活動(50%)		【教材】 授業プリント・iPad・入試問題など 【ICT】 ・教科サイト 【備考】							
				思考力・判断力・表現力												
ドキュメント(記録化)の方法 <共有と振り返りの日常化>		・Google Classroom		主体的に学習に取り組む態度												

2026年度 新渡戸文化中学校・高等学校				Unit Plan(年間シラバス)								担当	芥				
学年／コース			教科[中学]もしくは科目[高校]		重視される学びの自律型コンピテンシー												
高校3年 探究進学(医療理系)コース			数学C		自分をコントロールする Self-Control		他者とつながる Communication		新しい価値を創造する Creation								
					目標設定	選択	対話	つながり	情報活用	創造表現	内発 動機						
時間数			使用教科書		✓	課題発見	✓	戦略的学習力	✓	言語スキル	✓	協働性	✓	データサイエ ンス	✓	クリエイティ ビティ	未来 志向
2時間／週			数研出版 新編 数学C		✓	可能性発見	✓	自己修正	✓	双方向コミュ ニケーション	✓	ソーシャルリ ティ	✓	批判的思考	✓	論理的表現力	他者 尊重
					✓	パーソナライ ズな学び	✓	レジリエンス	✓	感情の コントロール	✓	教科と社会を 結ぶける力	✓	情報リテラ シー	<倫理観><双方向コミュ ニケーション><自己修正>		自己 承認
					学びの羅針盤(活動内容と評価基準)												
単元			単元の概要		社会的 視点	A3 実社会から学びを得る		B3 実社会の問いを生む		C3 社会貢献のデザイン							
1 学期	・複素数平面 ・数学的な表現の工夫		・単元の意義を考え、概念を理解し、基本的な原理・法則を用いた処理ができる。 ・複素数平面・行列の性質を理解し、事象を数学的に捉えて簡潔・明瞭・的確に表現できる。 ・本質的な問いに従って、問題解決の過程における粘り強さ・数学的論拠・表現のよさに気づき、評価・改善ができる。			実社会や世界のデータを検索し事象の数値を比較・分析したものを選択した方法で表現できる。※リアルな体験を通してB3につなげる可能性もある。											
	2 学期	自律学習	・本質的な問いに従って、問題解決の過程における粘り強さ・数学的論拠・表現のよさに気づき、評価・改善ができる。 ・学習の過程を振り返って考察を深め、評価し、改善することができる。			他者・ 地域 的 視点	A2 本物の素材から学びを得る		B2 対話から問いを生む		C2 学外に向けて発表						
				日常の事象から問いを発見し、解を導くことができる。			日常の事象もしくは実社会の問題に対して、役割分担を行い、解決や創造のアウトプットを共創する。										
3 学期					個人的 視点	A1 教科書から学びを得る		B1 個人の問いを生む		C1 校内で発表をする							
			基本事項の本質的な理解につとめ、基本問題を解くことができる。			手順の違う解法など他者の意見の理解に努め、学び方に向き合う姿勢が見られる。また、それらを自己評価することができる。		学習成果を共有・プレゼンテーションおよび相互評価することができる。									
						関わり Engage		探究 Investigate		行動 Act							
					評価方法					学びのリソース(教材・ICT)							
本質的な問いまたは単元を貫く問いの例			創造的な活動およびアウトプットの例		知識・技能	●単元テスト (50%)		●学習の進捗 ●振り返り ●主体的な学習活動 (50%)		【教材】 授業プリント・iPad・入試問題など 【ICT】 ・教科サイト 【備考】							
・学んだ数学的な事実を実社会でどのように用いるのか			・数学的な事実を実社会で使う場面にに対して、自分の考えを動画でまとめることができる														
ドキュメント(記録化)の方法 <共有と振り返りの日常化>			Google Chat ほか		主体的に学習に 取り組む態度												

2026年度 新渡戸文化中学校・高等学校				Unit Plan(年間シラバス)										担当	浜田							
学年／コース		教科[中学]もしくは科目[高校]		重視される学びの自律型コンピテンシー																		
高校3年 探究進学コース		数学/数学ⅠA演習		自分をコントロールする Self-Control			他者とつながる Communication			新しい価値を創造する Creation												
				目標設定	選択		対話	つながり		情報活用	創造表現		内発動機									
時間数		使用教科書		☒	課題発見		☒	戦略的学習力		☒	言語スキル		☒	協働性		☒	データサイエンス		☒	クリエイティビティ		未来志向
2時間／週		ニューステージ数学演習ⅠAⅡBC 数研出版		☒	可能性発見		☒	自己修正		☒	双方向コミュニケーション		☐	ソーシャルティ		☒	批判的思考		☒	論理的表現力		他者尊重
				☒	パーソナライズな学び		☒	レジリエンス		☒	感情のコントロール		☒	教科と社会を紐づける力		☒	情報リテラシー		<倫理観><双方向コミュニケーション><自己修正>			
	単元	単元の概要		学びの羅針盤(活動内容と評価基準)																		
1 学期	・数学ⅠA全範囲 CHECK 問題	・数学ⅠA全範囲 CHECK問題		社会的視点	A3 実社会から学びを得る				B3 実社会の問いを生む				C3 社会貢献のデザイン									
					実社会でいかに活用されているかを調べる。																	
2 学期	・数学ⅠA全範囲 CHECK 問題	・数学ⅠA全範囲 CHECK問題		他者の視点	A2 本物の素材から学びを得る				B2 対話から問いを生む				C2 学外に向けて発表									
					模試、入試問題の解法を身につける。 問答法による問いの創出																	
3 学期	・数学ⅠA全範囲 CHECK 問題	・数学ⅠA全範囲 CHECK問題		個人的視点	A1 教科書から学びを得る				B1 個人の問いを生む				C1 校内で発表をする									
					基本事項の本質的な理解に努め、基本問題を解くことができる。				学び方に向き合う姿勢が見られる。				学習成果を発表する。									
				関わり Engage				探究 Investigate				行動 Act										
				評価方法										学びのリソース(教材・ICT)								
本質的な問いまたは単元を貫く問いの例		創造的な活動およびアウトプットの例		知識・技能	●問題演習 ●スタサプテスト (50%)				●アウトプット型テスト ●活動の貢献度 (50%)				<教材> 問題集ニューステージ数学ⅠAⅡB演習・スタディサプリ・問題プリント <ICT> Padlet・Grapes・Geogebra・Keynote ・スプレッドシートほか <備考> 必要に応じて Web動画, Webソフトを活用する									
・学んだ数学的な事実を実社会でどのように用いるのか		・数学的な事実を実社会で使う場面に對して、自分の考えを動画でまとめることができる		思考力・判断力・表現力																		
ドキュメント(記録化)の方法 <共有と振り返りの日常化>		・Google Classroom(進捗課題および予定の確認) ・Padlet(進捗共有および作品共有)		主体的に学習に取り組む態度																		

2026年度 新渡戸文化中学校・高等学校				Unit Plan(年間シラバス)								担当	浜田			
学年／コース		教科[中学]もしくは科目[高校]		重視される学びの自律型コンピテンシー												
高校3年 探究進学コース		数学/数学ⅡB演習		自分をコントロールする Self-Control		他者とつながる Communication		新しい価値を創造する Creation								
				目標設定	選択	対話	つながり	情報活用	創造表現	内発動機						
時間数		使用教科書		☑	課題発見	☑	戦略的学習力	☑	言語スキル	☑	協働性	☑	データサイエンス	☑	クリエイティビティ	未来志向
2時間／週		ニューステージ数学演習ⅠAⅡBC 数研出版		☑	可能性発見	☑	自己修正	☑	双方向コミュニケーション	☐	ソーシャルティ	☑	批判的思考	☑	論理的表現力	他者尊重
				☑	パーソナライズな学び	☑	レジリエンス	☑	感情のコントロール	☑	教科と社会を紐づける力	☑	情報リテラシー	<倫理観><双方向コミュニケーション><自己修正>		自己承認
	単元	単元の概要		学びの羅針盤(活動内容と評価基準)												
1 学期	・数学Ⅱ全範囲 CHECK問題	・数学Ⅱ全範囲 CHECK問題		社会的視点	A3 実社会から学びを得る		B3 実社会の問いを生む		C3 社会貢献のデザイン							
					実社会でいかに活用されているかを調べる。											
2 学期	・数学Ⅱ全範囲 CHECK問題	・数学Ⅱ全範囲 CHECK問題		他者の視点	A2 本物の素材から学びを得る		B2 対話から問いを生む		C2 学外に向けて発表							
					模試、入試問題の解法を身につける。 問答法による問いの創出											
3 学期	・数学Ⅱ全範囲 CHECK問題	・数学Ⅱ全範囲 CHECK問題		個人的視点	A1 教科書から学びを得る		B1 個人の問いを生む		C1 校内で発表をする							
					基本事項の本質的な理解に努め、基本問題を解くことができる。		学び方に向き合う姿勢が見られる。		学習成果を発表する。							
					関わり Engage		探究 Investigate		行動 Act							
				評価方法						学びのリソース(教材・ICT)						
本質的な問いまたは単元を貫く問いの例		創造的な活動およびアウトプットの例		知識・技能	●問題演習 ●スタサプテスト (50%)		●アウトプット型テスト ●活動の貢献度 (50%)		<教材> 問題集ニューステージ数学ⅠAⅡB演習・スタディサプリ・問題プリント <ICT> Padlet・Grapes・Geogebra・Keynote ・スプレッドシートほか <備考> 必要に応じて Web動画, Webソフトを活用する							
・学んだ数学的な事実を実社会でどのように用いるのか		・数学的な事実を実社会で使う場面に對して、自分の考えを動画でまとめることができる											思考力・判断力・表現力			
ドキュメント(記録化)の方法 <共有と振り返りの日常化>		・Google Classroom(進捗課題および予定の確認) ・Padlet(進捗共有および作品共有)		主体的に学習に取り組む態度												

2026年度 新渡戸文化中学校・高等学校				Unit Plan(年間シラバス)								担当	浜田			
学年／コース		教科[中学]もしくは科目[高校]		重視される学びの自律型コンピテンシー												
高校3年 探究進学コース		数学/数学Ⅲ演習		自分をコントロールする Self-Control		他者とつながる Communication		新しい価値を創造する Creation								
				目標設定	選択	対話	つながり	情報活用	創造表現	内発 動機						
時間数		使用教科書		☑	課題発見	☑	戦略的学習力	☑	言語スキル	☑	協働性	☑	データサイエ ンス	☑	クリエイティ ビティ	未来 志向
2時間／週		ニューステージ数学演習Ⅰ AⅡ BC 数研出版		☑	可能性発見	☑	自己修正	☑	双方向コミュ ニケーション	☐	ソーシャルティ	☑	批判的思考	☑	論理的表現力	他者 尊重
				☑	パーソナライ ズな学び	☑	レジリエンス	☑	感情の コントロール	☑	教科と社会を 紐づける力	☑	情報リテラ シー	<倫理観><双方向コミュ ニケーション><自己修正>		自己 承認
	単元	単元の概要		学びの羅針盤(活動内容と評価基準)												
1 学期	・数学Ⅰ ・数学A ・数学Ⅱ	・ニューステージ数学Ⅰ全範囲 ・ニューステージ数学A全範囲 ・ニューステージ数学Ⅱ全範囲		社会的 視点 社会	A3 実社会から学びを得る		B3 実社会の問いを生む		C3 社会貢献のデザイン							
					実社会や世界のデータを検索し事象の数値を比較・分析したものを選択した方法で表現できる。※リアルな体験を通してB3につなげる可能性もある。											
2 学期	・数学B ・数学C ・問題演習	・ニューステージ数学B全範囲 ・ニューステージ数学C全範囲 ・共通テストなどの入試問題演習		他者の 視点 地域	A2 本物の素材から学びを得る		B2 対話から問いを生む		C2 学外に向けて発表							
					日常の事象から問いを発見し、解を導くことができる。		日常の事象もしくは実社会の問題に対して、役割分担を行い、解決や創造のアウトプットを共創する。									
3 学期				個人的 視点 個人	A1 教科書から学びを得る		B1 個人の問いを生む		C1 校内で発表をする							
					基本事項の本質的な理解につとめ、基本問題を解くことができる。		手順の違う解法など他者の意見の理解に努め、学び方に向き合う姿勢が見られる。また、それらを自己評価することができる。		学習成果を共有・プレゼンテーションおよび相互評価することができる。							
					関わり Engage		探究 Investigate		行動 Act							
				評価方法						学びのリソース(教材・ICT)						
本質的な問いまたは単元を貫く問いの例 ・学んだ数学的な事実を実社会でどのように用いるのか		創造的な活動およびアウトプットの例 ・数学的な事実を実社会で使う場面に対して、自分の考えを動画でまとめることができる		知識・技能	●問題演習 ●スタサプテスト (50%)		●アウトプット型テスト ●活動の貢献度 (50%)		<教材> 問題集ニューステージ数学ⅠAⅡB演習・スタディサプリ・問題プリント <ICT> Padlet・Grapes・Geogebra・Keynote ・スプレッドシートほか <備考> 必要に応じて Web動画, Webソフトを活用する							
				思考力・判断力・表現力												
ドキュメント(記録化)の方法 <共有と振り返りの日常化>		・Google Classroom(進捗課題および予定の確認) ・Padlet(進捗共有および作品共有)		主体的に学習に取り組む態度												

2026年度 新渡戸文化中学校・高等学校				Unit Plan(年間シラバス)							担当	浜田				
学年／コース		教科[中学]もしくは科目[高校]		重視される学びの自律型コンピテンシー												
高校3年 美術・フードデザイン		数学演習		自分をコントロールする Self-Control		他者とつながる Communication		新しい価値を創造する Creation								
				目標設定	選択	対話	つながり	情報活用	創造表現	内発動機						
時間数		使用教科書		✔	課題発見	✔	戦略的学習力	✔	言語スキル	✔	協働性	✔	データサイエンス	✔	クリエイティビティ	未来志向
2時間／週		ニューステージ数学演習Ⅰ AⅡBC 数研出版		✔	可能性発見	✔	自己修正	✔	双方向コミュニケーション	✔	ソーシャルリティ	✔	批判的思考	✔	論理的表現力	他者尊重
				✔	パーソナライズな学び	✔	レジリエンス	✔	感情のコントロール	✔	教科と社会を紐づける力	✔	情報リテラシー	<倫理観><双方向コミュニケーション><自己修正>		自己承認
	単元	単元の概要		学びの羅針盤(活動内容と評価基準)												
1 学期	・数学Ⅰ ・数学A	・ニューステージ数学Ⅰ 全範囲 ・ニューステージ数学A場合の数と確率		社会的視点 社会	A3 実社会から学びを得る		B3 実社会の問いを生む		C3 社会貢献のデザイン							
					実社会や世界のデータを検索し事象の数値を比較・分析したものを選択した方法で表現できる。※リアルな体験を通してB3につなげる可能性もある。											
2 学期	・数学A ・問題演習	・数学A場合の数と確率 ・数学A平面図形、空間図形 ・参考書、過去問題、模試問題の演習		他者の視点 地域	A2 本物の素材から学びを得る		B2 対話から問いを生む		C2 学外に向けて発表							
					日常の事象から問いを発見し、解を導くことができる。		日常の事象もしくは実社会の問題に対して、役割分担を行い、解決や創造のアウトプットを共創する。									
3 学期				個人的視点 個人	A1 教科書から学びを得る		B1 個人の問いを生む		C1 校内で発表をする							
					基本事項の本質的な理解につとめ、基本問題を解くことができる。		手順の違う解法など他者の意見の理解に努め、学び方に向き合う姿勢が見られる。また、それらを自己評価することができる。		学習成果を共有・プレゼンテーションおよび相互評価することができる。							
					関わり Engage		探究 Investigate		行動 Act							
					評価方法					学びのリソース(教材・ICT)						
本質的な問いまたは単元を貫く問いの例		創造的な活動およびアウトプットの例		知識・技能	●単元テスト ●受験対策ノート提出 ●授業時解答板書 ●問題プリント提出 ●スタサブ提出		●創作活動 ●受験対策ノート工夫 ●数学プレゼン		【教材】 ・問題集、参考書、スタサブ 【ICT】 ・教科書デジタルコンテンツ、スタサブ、GRAPES 【備考】							
数学ⅠAの既習内容の算数・数学としての統合的理解と活用		別解の理解と活用、応用問題、発展問題への理解と解法活用														
ドキュメント(記録化)の方法 <共有と振り返りの日常化>		受験対策ノート(My参考書)の恒常的使用		主体的に学習に取り組む態度												

2026年度 新渡戸文化中学校・高等学校				Unit Plan(年間シラバス)						担当	高橋正		
学年／コース			教科[中学]もしくは科目[高校]		重視される学びの自律型コンピテンシー								
高校3年探究進学医療理系コース			化学		自分をコントロールする Self-Control		他者につながる Communication		新しい価値を創造する Creation				
時間数			使用教科書		目標設定	選択	対話	つながり	情報活用	創造表現	内発動機		
4時間／週			東京書籍 化学 (理論編・物質編)		課題発見	戦略的学習力	言語スキル	協働性	データサイエンス	クリエイティビティ	未来志向		
					可能性発見	自己修正	双方向コミュニケーション	ソーシャルリティ	批判的思考	論理的表現力	他者尊重		
					パーソナライズな学び	レジリエンス	感情のコントロール	教科と社会を紐づける力	情報リテラシー	<倫理観><双方向コミュニケーション><自己修正>	自己承認		
単元			単元の概要		学びの羅針盤(活動内容と評価基準)								
1 学期	化学基礎の確認 0編 人間生活のなかの化学 1編 物質の状態 2編 化学反応とエネルギー 3編 化学反応の速さと平衡		選択した生徒の受験・進路を考え、教科書の内容を入れ替えて実施することもある。		社会的視点	A3 実社会から学びを得る		B3 実社会の問いを生む		C3 社会貢献のデザイン			
						学期に1回、専門家からの講演・セミナーを実施し、自分の学びに自分のコメントを表現できる。		実社会にある化学に関わる社会課題について、自分の問いを生み出すことができる。		持続可能な社会に向けて、化学基礎の学びを活用できるコラムを書くことができる。			
2 学期	4編 無機物質 5編 有機化合物 6編 高分子化合物 7編 化学が果たす役割		選択した生徒の受験・進路を考え、教科書の内容を入れ替えて実施することもある。		他者・地域的視点	A2 本物の素材から学びを得る		B2 対話から問いを生む		C2 学外に向けて発表			
						実験での学びを、日常の事象へ繋げることができる。 社会課題と呼ばれるものの中から、化学と関連を発見し、課題の本質を表現できる。		対話により他者との意見を聞き発展できる。 新たな問いを見つけて、解決にこだわらず、外部への情報発信する材料を準備できる。		学びを学校外の誰かに発信できる。			
3 学期	一般受験に向けて		各種講習を予定		個人的視点	A1 教科書から学びを得る		B1 個人の問いを生む		C1 校内で発表をする			
						化学基礎の内容を定着しながら化学を学ぶ。授業プリントを用いて学習内容が定着度を客観的に把握し、補うことができる。実験技能を身につける。		教科の学びを教科書のコラムやNewsPicksと繋げることができる。理科的な思考力を深められる。		学習成果をプレゼンテーションすることができる。また発表について相互評価することができる。			
					関わり Engage		探究 Investigate		行動 Act				
					評価方法					学びのリソース(教材・ICT)			
本質的な問いまたは単元を貫く問いの例 Heart			創造的な活動およびアウトプットの例 Hands		知識・技能	●単元テスト(30%) ●チェックテスト ●Think & Quest (20%)		●創作活動 ●レポート ●授業態度 ●提出物 ●ワークシート ●活動の貢献度 (50%)		<教材> 教科書・図説・授業プリント・iPad <ICT> Keynote・Document(ほか) <備考> try it 化学(Web動画)は家庭学習や自主学習で活用する			
・化学と自分の身の周りとの繋がりを説明せよ。			・単元の内容について「なぜだろう？」を考えるきっかけを意識して、専門用語を用いながら、筋道を立てて言語化できるようにする。		思考力・判断力・表現力								
ドキュメント(記録化)の方法 <共有と振り返りの日常化> Head			・授業プリント(手書き記入) ・GoogleClassroom ・ロイロノートによる画像、動画、スライド		主体的に学習に取り組む態度								

2026年度 新渡戸文化中学校・高等学校				Unit Plan(年間シラバス)				担当	秋山、釜石、燧							
学年／コース		教科[中学]もしくは科目[高校]		重視される学びの自律型コンピテンシー												
高校3年		[高校]体育		自分をコントロールする Self-Control		他者とながら Communication		新しい価値を創造する Creation								
				目標設定	選択	対話	つながり	情報活用	創造表現	内発動機						
時間数		使用教科書		☒	課題発見	☒	戦略的学習力	☒	言語スキル	☒	協働性	☐	データサイエンス	☒	クリエイティビティ	未来志向
3時間／週		新高等 保健体育		☒	可能性発見	☒	自己修正	☒	双方向コミュニケーション	☒	ソーシャルリティ	☒	批判的思考	☒	論理的表現力	他者尊重
				☒	パーソナライズな学び	☒	レジリエンス	☒	感情のコントロール	☒	教科と社会を紐づける力	☒	情報リテラシー	<倫理観><双方向コミュニケーション><自己修正>		自己承認
	単元	単元の概要		学びの羅針盤(活動内容と評価基準)												
1 学期	【選択制】 ①バスケットボール、サッカー、卓球 ②バドミントン、アルティメット、ダンス ③タグラグビー、ポッチャ、テニピン	各競技のルールを理解し勝敗を楽しむ。各競技の技能の向上を目指す。スポーツを「する」だけでなく、「見る」、「知る」、「支える」活動を実践する。授業を通して自分の経験や価値観をもとにスポーツの意義について考察する。		社会的視点	A3 実社会から学びを得る		B3 実社会の問いを生む		C3 社会貢献のデザイン							
					プロや大学生などのプレーの様子を動画等で学び、自分のプレーに生かすことができる。		スポーツにまつわる様々な課題について、興味や問いを持ち提案することができる。									
2 学期	【選択制】 ①バスケットボール、サッカー、卓球 ②バドミントン、アルティメット、ダンス ③タグラグビー、ポッチャ、テニピン	各競技のルールを理解し勝敗を楽しむ。各競技の技能の向上を目指す。スポーツを「する」だけでなく、「見る」、「知る」、「支える」活動を実践する。授業を通して自分の経験や価値観をもとにスポーツの意義について考察する。		他者・地域的視点	A2 本物の素材から学びを得る		B2 対話から問いを生む		C2 学外に向けて発表							
					友達のプレーから良い点・悪い点をみつけ、自分のプレーに生かすことができる。		自他のプレーについて課題を見つけ、技能を高めるためのアドバイスをすることができる。									
3 学期				個人的視点	A1 教科書から学びを得る		B1 個人の問いを生む		C1 校内で発表をする							
					基本ルール・技術について、教科書から学ぶことができる。		自分のプレーについて課題を見つけ、技能を高めることができる。		試合や発表会など学んだ基礎技能を実践で使うことができる。							
					関わり Engage		探究 Investigate		行動 Act							
				評価方法					学びのリソース(教材・ICT)							
本質的な問いまたは単元を貫く問いの例 ・生涯を通してスポーツとどう関わることができるか ・自他の課題解決のためにどう行動するか 創造的な活動およびアウトプットの例 試合や発表会など学んだ基礎技能をゲームで実践する。				知識・技能	●技能・筆記テスト(50%) ●授業参加度(20%) アウトプット・単元テストの公欠や出席停止は追試をする(点数はそのまま)、普通の欠席は追試はしない。			●アウトプット型テスト(30%)			【教具】 ・体育用具					
				思考力・判断力・表現力							【ICT】 ・iPad ・ロイロノート ・クラスルーム					
ドキュメント(記録化)の方法 <共有と振り返りの日常化>				主体的に学習に取り組む態度					【備考】							
ロイロノートなど																

2026年度 新渡戸文化中学校・高等学校				Unit Plan(年間シラバス)						担当	笹野・四方					
学年／コース		教科[中学]もしくは科目[高校]		重視される学びの自律型コンピテンシー												
高校3年美術コース		美術3		自分をコントロールする Self-Control		他者とつながる Communication		新しい価値を創造する Creation								
				目標設定	選択	対話	つながり	情報活用	創造表現	内発動機						
時間数		使用教科書		☒	課題発見	☒	戦略的学習力	☐	言語スキル	☐	協働性	☐	データサイエンス	☒	クリエイティビティ	未来志向
6時間／週		日本文教出版		☒	可能性発見	☒	自己修正	☒	双方向コミュニケーション	☒	ソーシャリティ	☒	批判的思考	☒	論理的表現力	他者尊重
				☒	パーソナライズな学び	☒	レジリエンス	☒	感情のコントロール	☒	教科と社会を紐づける力	☐	情報リテラシー	<倫理観><双方向コミュニケーション><自己修正>		自己承認
				学びの羅針盤(活動内容と評価基準)												
	単元	単元の概要														
1 学期	・油彩 ・デッサン ・ポートフォリオ ・プロデュース	・進路に向けて油絵制作、デッサン(自画像、静物) ・プロデュースをし、ポートフォリオの内容を充実させプレゼンテーション力を高める		社会・世界的視点	A3 実社会から学びを得る		B3 実社会の問いを生む		C3 社会貢献のデザイン							
			・フィールド活動を通して社会の課題に目を向ける ・現代美術鑑賞		・作品コンセプトにより派生する場合がある		社会課題を視覚化し伝えるデザインを考える									
2 学期	・卒業制作	専門性を高め、完成度の高い作品制作を目指す		他者・地域的視点	A2 本物の素材から学びを得る		B2 対話から問いを生む		C2 学外に向けて発表							
			・作品鑑賞、表現の多様性 ・モチーフとの対話、丁寧に観察し構造を理解する		・講習会を通して互いの作品を鑑賞する、また自分の作品を客観視することにより作品の質を高める		・外部コンクール ・新渡戸祭、スタフェス									
3 学期				個人的視点	A1 教科書から学びを得る		B1 個人の問いを生む		C1 校内で発表をする							
			・完成度を高めるための専門性を磨く		・エスキースを重ねコンセプトを明確にする ・イメージしたものを言語化する ・物事を丁寧に観察する		・プレゼン型講習会 ・校内展示 ・3月に卒業制作展									
					関わり Engage		探究 Investigate		行動 Act							
				評価方法						学びのリソース(教材・ICT)						
本質的な問いまたは単元を貫く問いの例		創造的な活動およびアウトプットの例		知識・技能	●コンセプト ●作品 ●ポートフォリオ ●プレゼンテーション		●リアクションペーパー ●提出物 ●出席、授業にのぞむ姿勢		【教材】 ・授業資料 【ICT】 ・iPad、keynote、adobe 【備考】							
・内在するものをいかに表現できるか ・課題に対して何を解決することができるか		新渡戸祭、スタフェス、外部コンクール プロジェクト発表														
ドキュメント(記録化)の方法 <共有と振り返りの日常化>				主体的に学習に取り組む態度												

2026年度 新渡戸文化中学校・高等学校				Unit Plan(年間シラバス)						担当	村上					
学年／コース		教科[中学]もしくは科目[高校]		重視される学びの自律型コンピテンシー												
高校3年探究コース		英語コミュニケーションⅡ		自分をコントロールする Self-Control		他者とつながる Communication		新しい価値を創造する Creation								
				目標設定	選択	対話	つながり	情報活用	創造表現	内発 動機						
時間数		使用教科書		☒	課題発見	☒	戦略的学習力	☒	言語スキル	☒	協働性	☐	データサイエ ンス	☐	クリエイティビ ティ	未来 志向
4時間／週		Power On Ⅱ		☐	可能性発見	☐	自己修正	☒	双方向コミュ ニケーション	☐	ソーシャルティ	☐	批判的思考	☒	論理的表現力	他者 尊重
				☒	パーソナライ ズな学び	☐	レジリエンス	☐	感情の コントロール	☐	教科と社会を 結ぶ力	☒	情報リテラ シー	<倫理観><双方向コミュ ニケーション><自己修正>		自己 承認
				学びの羅針盤(活動内容と評価基準)												
単元	単元の概要															
1 学期	Lesson 6 Lesson 7	・新紙幣に関するオンライン記事:形式目的語と that 節、形式目的語it と to 不定詞 ・色が私たちに与える心理的効果についての論説文:関係代名詞、関係副詞			社会的 視点 社会・世界	A3 実社会から学びを得る		B3 実社会の問いを生む		C3 社会貢献のデザイン						
	実社会に関する題材について、必要な情報や筆者の考えを捉え、それらを活用しながら社会的な課題や価値について考察し、自分の考えを論理的に話したり書いたりして伝えている。		実社会に関する題材について、必要な情報や筆者の考えを捉え、それらをもとに社会的な課題や可能性について問いを立てることができる。													
2 学期	Lesson 8 Lesson 9	・納豆パウダーの誕生秘話と世界への普及に関する論説文:強調構文、関係代名詞、 ・アメリカで黒人女性初のパイロットとなったベシー・コールマンの伝記:譲歩を表す副詞節、分詞構文			他者の 視点 地域	A2 本物の素材から学びを得る		B2 対話から問いを生む		C2 学外に向けて発表						
	題材から必要な情報を正確に理解し、自分の考えを理由や具体例とともに論理的に伝えることができる。		文章から得た情報をもとに他者との対話を行い、新たな問いや視点を見いだしている。													
3 学期					個人的 視点	A1 教科書から学びを得る		B1 個人の問いを生む		C1 校内で発表をする						
						社会問題や史実に基づく文章を読み、推測などの防壁とした理解ではなく、正しく内容を理解する		自分の考えを理由とともに英語で伝え、他者の考えを踏まえて考察を深めている。		スピーチやプレゼン、またはライティングで、論理的に自分の考えを英語で伝えることができる						
					関わり Engage		探究 Investigate		行動 Act							
					評価方法				学びのリソース(教材・ICT)							
本質的な問いまたは単元を貫く問いの例 Heart		創造的な活動およびアウトプットの例 Hands			知識・技能	●単元テスト ●音読テスト ●アウトプットテスト ●単語チャレンジ ●self feedback		●プレゼンテーション ●グループワーク ●自己評価 ●クリエイション活動		【教材】教科書、プリント、音源資料、映像資料						
人はどのように世界をより良くしようとするのか		自分の考えや意見についてスピーチやプレゼンの形で発表する			思考力・判断力・表現力					【ICT】 ・ロイロ、Google Classroomm、						
ドキュメント(記録化)の方法 <共有と振り返りの日常化> Head		Google Form、Microsoft forms、ロイロノート等によるデータ管理、スタサブなど			主体的に学習に取り組む態度					【備考】						

2026年度 新渡戸文化中学校・高等学校				Unit Plan(年間シラバス)				担当	田中常浩				
学年／コース		教科[中学]もしくは科目[高校]		重視される学びの自律型コンピテンシー									
高校3年αβ探究コース		英語演習Ⅱ		自分をコントロールする Self-Control		他者とつながる Communication		新しい価値を創造する Creation					
時間数		使用教科書		目標設定	選択	対話	つながり	情報活用	創造表現	内発動機			
2時間／週		Treasure Hunt 3rd Edition (いいずな) 共通テスト英語TOUCH10(桐原)		☐ 課題発見	☒ 戦略的学習力	☒ 言語スキル	☐ 協働性	☐ データサイエンス	☒ クリエイティビティ	未来志向			
				☐ 可能性発見	☒ 自己修正	☐ 双方向コミュニケーション	☐ ソーシャルティ	☒ 批判的思考	☐ 論理的表現力	他者尊重			
				☒ パーソナライズな学び	☒ レジリエンス	☒ 感情のコントロール	☒ 教科と社会を紐づける力	☐ 情報リテラシー	<倫理観><双方向コミュニケーション><自己修正> 自己承認				
単元				単元の概要				学びの羅針盤(活動内容と評価基準)					
1 学期	・パラグラフリーディングの基本を学ぶ。 ・英語音声変化5つのルール ・Next Stage ・Treasure Hunt(L1-L4) ・Touch 10→10分間テスト(第1回～第5回)		・読解のストラテジーを学び、練習する。 ・自分が想定する音と実際に発音される音のギャップを理解する。 ・Next Stageで構文を学ぶ。 ・Treasure Hunt→[テーマ]分詞、助動詞、倒置、不定詞 ・共通テストリスニングの第1問A～第3問に対応する問題の練習。		社会的視点	A3 実社会から学びを得る		B3 実社会の問いを生む		C3 社会貢献のデザイン			
								さまざまなトピックを読み取り、情報や主張を客観的に分析し、Critical thinkingにつなげていく。					
2 学期	・Next Stage ・Treasure Hunt(L5-L10) ・Touch 10→10分間テスト(第6回～第10回)		・Next Stageで構文を学ぶ。 ・Treasure Hunt→[テーマ]分詞、助動詞、倒置、不定詞 ・共通テストリスニングの第1問B～第3問に対応する問題の練習。		他者・地域的視点	A2 本物の素材から学びを得る		B2 対話から問いを生む		C2 学外に向けて発表			
						コンテキストを意識しながら適切な英語表現を選択できるようにする。		英文パッセージの読み取りのポイントをグループで探る。					
3 学期					個人的視点	A1 教科書から学びを得る		B1 個人の問いを生む		C1 校内で発表をする			
						文法、構文をしっかりと練習することで、読み取り、聞き取りの力をアップさせる。		報道、技術、環境などに関する社会問題を読み取り、自分事として		報道、技術、環境、統計に関するトピックを読み取り、他者の意見を理解し、自分立場を明確にできるようにする。			
						関わり Engage		探究 Investigate		行動 Act			
評価方法						学びのリソース(教材・ICT)							
本質的な問いまたは単元を貫く問いの例 Heart				創造的な活動およびアウトプットの例 Hands				知識・技能		●確認テスト(リーディング) ●Next Stageテスト ●クリエーション(読解問題の作成) ●課題提出(主にリーディング課題)		【教材】 ●スタディサプリ ●Rapid Reading教材 ●パラグラフリーディング教材	
共通テストのリーディング、リスニングに焦点をあてた授業展開だが、英文を読んだり、聞いたりできるには文法力、構文力が不可欠。そのことを早期に認識してもらい、各自で練習できる素地を作る。				リーディング分野について、英文パッセージから問いを作成できる力を養成する。				思考力・判断力・表現力				【ICT】 ●iPad(クリエーション)	
ドキュメント(記録化)の方法 <共有と振り返りの日常化> Head				・ノートテイキングで思考の可視化。 ・ロイロノートでクリエーションの集約と共有。				主体的に学習に取り組む態度					

2026年度 新渡戸文化中学校・高等学校				Unit Plan(年間シラバス)						担当	伊藤・大石					
学年／コース		教科[中学]もしくは科目[高校]		重視される学びの自律型コンピテンシー												
高校3年フードデザインコース				自分をコントロールする Self-Control		他者とつながる Communication		新しい価値を創造する Creation								
				目標設定	選択	対話	つながり	情報活用	創造表現	内発動機						
時間数		使用教科書		☒	課題発見	☐	戦略的学習力	☒	言語スキル	☐	協働性	☐	データサイエンス	☒	クリエイティビティ	未来志向
3時間／週				☒	可能性発見	☒	自己修正	☒	双方向コミュニケーション	☒	ソーシャルリティ	☒	批判的思考	☐	論理的表現力	他者尊重
				☒	パーソナライズな学び	☐	レジリエンス	☒	感情のコントロール	☒	教科と社会を組むける力	☒	情報リテラシー	<倫理観><双方向コミュニケーション><自己修正>		自己承認
単元		単元の概要		学びの羅針盤(活動内容と評価基準)												
1 学 期	FOOD JOURNEY ①食のサプライチェーン ②言葉のスタディ:多様な表現にふれる ③「料理」の意味 ④「包装」の意味 ⑤「加工」の意味 ⑥生産:食と命 ⑦生産:海藻 ⑧リフレクション	①身近な食のサプライチェーンを俯瞰する ②多様な言語表現にふれ、試す。 ③料理の意味を地球視点で考える ④身近な食品包装を分析し、意味を探る ⑤冷凍食品の社会的背景や技術を知る ⑥ジビエを通していのちを考える生産(山) ⑦海藻を通して食と自然環境の相互関係を考える ⑧1学期の自身の学びや心の動きを内省する	社会的視点	A3 実社会から学びを得る		B3 実社会の問いを生む		C3 社会貢献のデザイン								
				食にまつわる世界的な課題や活動の事例を、日常生活や自身の興味と結びけながら、テーマごとに学びを深めていく。		インプットに対して自分なりの解釈や意見、よりよくするにはどうしたら良いかを考える。 宿題として、翌週のテーマに関する日常での気づきを考えてもらう		調理技術に留まらず、食・料理に対して広い視野を持つことで、将来の仕事における自身の行為のデザイン力を高める。								
				A2 本物の素材から学びを得る		B2 対話から問いを生む		C2 学外に向けて発表								
				食をめぐる活動の最前線にいる人たちの声を通して、現状を知り、関心を持つ。		グループでの対話を通して、異なる価値観を知り多様性に触れる。		各回の最後に、自分が感じたことや考えたこと、アイデアを他者への手紙の形でアウトプットする。								
2 学 期	FOOD JOURNEY ⑨食と文化 ⑩食と人・コミュニティ ⑪食と場 ⑫マイプロジェクト	⑨異文化の食に触れて、食がいかに文化と密接に関わっているかを学ぶ ⑩食が個人にもとらず安心感やつながりなどアイデンティティとのかかわりを学ぶ ⑪カフェや食堂など、食を介する場の機能を考える ⑫自身が興味を持った領域を深め、他者に表現する。	他者の視点	A1 教科書から学びを得る		B1 個人の問いを生む		C1 校内で発表をする								
				食のサステナビリティに関する基礎知識を得る。		各テーマ講義やゲストによる生の声に触れて、疑問に思ったこと、感じたことを記録しながら、手紙で伝える。		生徒同士で感じたことや気づきをシェアしあい、新たな気づきや異なる意見に触れる。								
				関わり Engage		探究 Investigate		行動 Act								
				評価方法		学びのリソース(教材・ICT)										
本質的な問いまたは単元を貫く問いの例 Heart		創造的な活動およびアウトプットの例 Hands		知識・技能		●ワークシート ●手紙 ●学期末発表		・ワークシート内容(授業で扱ったポイントを活用できているか、アイデアの創造性、社会貢献性など) ・手紙内容(文量、着目ポイント、率直な心の動き、授業ごとに自身の変化が感じられるかなど) ・授業への参加状況 ・授業に取り組む姿勢 ・課題への取組状況		【教材】 講義スライド、ゲストトーク、映画、食						
・「料理する」とは ・食品包装の意味は ・食の「いのち」の違いとは		・サステナビリティを意識したカレーアイデア ・身近な誰かを救う冷凍食品アイデア		思考力・判断力・表現力												
ドキュメント(記録化)の方法 <共有と振り返りの日常化> Head		ノートへの記録、手紙(伝わる文章を書く練習)、アイデア出し ワークシート(創造性の強化)、学びの発表		主体的に学習に取り組む態度												

2026年度 新渡戸文化中学校・高等学校				Unit Plan(年間シラバス)						担当 佐藤月彦						
学年／コース		教科[中学]もしくは科目 [高校]		重視される学びの自律型コンピテンシー												
高校3年フードデザインコース		フードデザイン		自分をコントロールする Self-Control		他者とつながる Communication		新しい価値を創造する Creation								
				目標設定	選択	対話	つながり	情報活用	創造表現	内発 動機						
時間数		使用教科書		☐	課題発見	☐	戦略的学習力	☐	言語スキル	☐	協働性	☐	データサイエ ンス	☐	クリエイティビ ティ	未来 志向
3時間／週		なし		☐	可能性発見	☐	自己修正	☐	双方向コミュ ニケーション	☐	ソーシャルリテ	☐	批判的思考	☐	論理的表現力	他者 尊重
				☐	パーソナライ ズな学び	☐	レジリエンス	☐	感情の コントロール	☐	教科と社会を 結ぶ力	☐	情報リテラ シー	<倫理観><双方向コミュ ニケーション><自己修正>		自己 承認
				学びの羅針盤(活動内容と評価基準)												
単元	単元の概要			視点 社会・世界・社会・他者・個人	A3 実社会から学びを得る		B3 実社会の問いを生む		C3 社会貢献のデザイン							
1 学期	・発展的調理	・服部栄養専門学校講師による調理実習			授業だけでなく、地域や外部の専門 家からより専門的なことを学び、自身 の学びを深める。		授業での学びから「食」への社会課題 に目を向け、自分たちができる解決方 法を考える。また、専門家から話を聞 くことで新たな疑問が生まれることも ある。		A3、B3を重ねることで学びが深まり、 学んだことを実社会に役立てるため にはどうすればいいのかを考えるきっ かけになる。							
2 学期	・発展的調理	・服部栄養専門学校講師による調理実習			学んだ内容を身につけ、実習に生か すことができる。また、「食」に関する 社会課題について考えることで実社 会で起きている問題に向き合う。		学んだ内容を実習のグループ内で共 有し、役割分担を行いながら実習でア ウトプットを共創する。		C1から学外に向けて発表する形に発 展する場合もある。							
3 学期	・ ・	・ ・			A1 教科書から学びを得る		B1 個人の問いを生む		C1 校内で発表をする							
					各国食文化や調理技術など基本的内 容の理解に努め、基本問題を解くこ とができる。		基本的内容の理解に努めた上で、そ こへの疑問など学び方に向き合う姿 勢が見られる。また、それらを自己評 価することができる。		学んだ学習効果をプレゼンテーショ ン、および相互評価することができ る。また、身につけた調理スキルを 使って学内販売などで成果を発表す ることができる。							
					関わり Engage		探究 Investigate		行動 Act							
				評価方法					学びのリソース(教材・ICT)							
本質的な問いまたは単元を貫く問いの例 Heart		創造的な活動およびアウトプットの例 Hands		知識・技能	●単元テスト ●出欠 ●身だしなみ		●創作活動 ●協働や相互評価 ●発表または共有 ●活動の貢献度 ●学習の進捗状況		【教材】							
「食」とは何か		「食」とは何かについて自分の言葉で表現し、 アウトプットすることができる。		思考力・判断力・ 表現力					【ICT】 ・教科サイト							
ドキュメント(記録化)の方法 <共有と振り返りの日常化> Head		・Google Classroom(進捗課題および予定の確認) ・ドキュメント		主体的に学習に 取り組む態度					【備考】							